

NEXTを 語り合う ワークシート

『VIEW21』 高校版
2020年10月号特集

テーマ

私が考える「主体的・対話的で深い学び」

「主体的・対話的で深い学び」は、これからの社会を生きる上で求められる資質・能力を生徒に育むために必要なものである。だが、その学びを実現する授業のあり方は、学校や生徒の状況、そして教師の教育観によって多様である。「主体的・対話的で深い学び」について校内で対話し、具体的な授業改善へとつなげていくために、本ワークシートを活用いただきたい。

ワークシートの使い方

本ワークシートを複写、またはダウンロードし、各自が、下記①～③の上段部分を記入した上で集まる。各教師の記入内容を共有しながら、参考にしたいと思ったことや質問したいことを、①～③の下段にある囲みに、それぞれ記入する。自校の教師と意見を交わすことを通じて、目指すべき「主体的・対話的で深い学び」を、参加者個々が深めていく。

1

私が育成を目指す資質・能力

自校の教師の話聞いて、つけ加えたいと思った資質・能力や、自分が表現したものよりもフィットすると思った資質・能力を記入する。また、質問したいことなどがあれば記入。

2

①の資質・能力を育む、私が考える「主体的・対話的で深い学び」

※コロナ禍の中での授業実践を通じて新たに気づいたことがあれば、その点も踏まえて書く。
「主体的な学び」とは



ファシリテーター役の先生へ

「主体的・対話的で深い学び」を自分なりの言葉で表現できる先生は少ないかもしれません。そのため、ファシリテーター役の先生は、対話への参加を自校の先生に呼びかける際に、「ワークシートの中に答えられない項目があったのならば、それは授業改善のチャンスということです」といった言葉を添えることで、対話の場への参加に対する心理的なハードルを下げられるでしょう。また、参加者が対話を重ねても「主体的・対話的で深い学び」についての理解に深まりが見られない時は、対話の途中に今号の特集の「実践事例 (P.9～23)」「解説 (P.24～27)」を読む時間を設けることで、新たな視座を得ることができ、対話が活性化するかもしれません。

オンライン・ワークショップのご案内

本ワークシートを活用した自校の教師同士による対話を通じて、教育の「これから」を考えるオンライン・ワークショップを開催します。詳しくはP.31をご覧ください。

3

②を実現するために、これから(あるいは、引き続き)取り組みたい授業の具体的な改善内容

※コロナ禍の中での授業実践を通じて新たに気づいたことがあれば、その点も踏まえて書く。

自校の教師の話聞いて、自分も取り入れたいと思った改善内容や、質問したいことなどを記入。

「深い学び」とは

「対話的な学び」とは

自校の教師の話聞いて、つけ加えたいと思った要素や、自分が表現したものよりもフィットすると思った要素を記入する。また、質問したいことなどがあれば記入。

